

# プール事故を起こさないために！



平成23年度に医療費を支給したケガのうち、プールでの発生件数は7,346件ありました。また、この6年間（18年～23年度）に支給した死亡事故は9件（溺死5件、突然死2件、頸髄損傷2件）、治ゆ後も後遺症が残る障害事故は45件となっています。プールでの事故を防ぐためには、どんなところに注意したらよいでしょうか

## ★平成23年度 学校の管理下のプールでの災害発生件数

小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所	合計
3,798	2,048	872	11	167	450	7,346



## とびこみに注意！

障害事故45件のうち、飛び込みなどによりプールの底で頭部を強打した事故が18件あり、全体の40%を占めました。特に水深の浅い小学校のプールは危険です。また、飛び込みの際、水中にいる他の児童生徒に激突する事故も多く、近年、プールでの飛び込みを禁止とする自治体も増えています。先生方の指導のもとに、細心の注意を払って行うことが必要です。

【障害事例】 中学校3年 男子 頸椎脱臼骨折  
放課後の水泳部練習中、本生徒は飛び込み練習をしていた。飛び込んだ際に体が急角度で入水し、底面で頭を強打し、首を痛めた。



# プール事故を起こさないために！

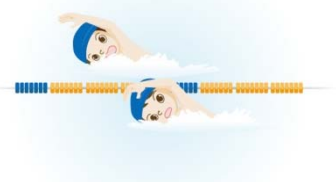


## 水の中に注意！

泳ぎの得意な人でも、水中で気分が悪くなって助けを呼べないまま溺れてしまうことがあります。水の中に児童生徒がいる間も注意を怠ることはできません。また、体調把握や整理体操等の事前の準備を十分に行い、事故予防にも努めましょう。

【死亡事例】 小学校5年 女子 溺水

夏季休業時のプール開放時、25メートルをクロールで泳いでいた。ほぼ中間地点にさしかかった頃、急に動きがバタバタし始め、13メートル付近でおむけ状態となった。水中で意識喪失の状態になったため、溺れたものである。



## プールから上がった後も注意！

障害事故45件のうち、プールサイドや更衣室で転倒した事故が10件あり、全体の約22%になります。プールサイドは水に濡れて滑りやすくなっているため、転ばないように指導しましょう。また、プールから上がったすぐに、意識を失って倒れる事例もあります。

【障害事例】 小学校1年 女子 下顎裂傷

水泳指導が終わった後、バスタオルを首からかけ、両手が出ない状態でプールサイドを走り、転倒した。



当センター発行の冊子『学校における水泳事故防止必携[新訂二版]』も参考になります。  
ホームページで閲覧できます。